

事業概要

①群馬県高崎市、②福島県大熊町にて、地域の課題を学習者が発掘・設定し、1ヶ月、3ヶ月、あるいは数ヶ月連続的に同じ地域の方々と関わりながらチェンジメーカー育成のプログラムを開発。群馬県高崎市では病院、神社、地域事業者、地域の金融機関を舞台にプログラムを実施する。また福島県大熊町では、原発事故による避難指示が来春解除されるが解除後の街づくりを考える大熊町の若手職員による会議体を舞台にプログラムを実施。

進捗状況と今後の展望

8月

- ・ 事業実施にむけた再委託先、地元（高崎、大熊）との打ち合わせ
- ・ 実施スケジュールの調整と内容検討

9月

- ・ 事業実施にむけた再委託先、地元（高崎、大熊）、学習者等との打ち合わせ
 - ・ 実施スケジュールの調整と内容検討
- * 高崎プログラム（20日版）は、10月1日（オリエンテーション）から学習者11名でスタート予定。
- * 高崎プログラム（90日版）は、学習者2名10月1日（オリエンテーション）からスタート予定
また、内、学習者2名は10月15日からスタート予定。
11月1日より1名開始を検討中。
- * 大熊町プログラムは、学習者10名で、10月10日（オリエンテーション、現地視察1泊2日）からスタート予定。

今後の展望

【10月以降のスケジュール】

○高崎プログラム

<20日間プログラム（7名）>

10月1日から10月15日現場研修・地域イベント（美スタイルマラソン、山名ビバフェス（子供向けイベント）企画・準備・運営に関わる）

<3ヶ月プログラム（4名）>

10月1日から2名スタート

10月15日から2名スタート

（受入様：山名八幡宮、佐藤病院、他）

<共通プログラム（現状決まっているもの）>

10/24.25プログラムふりかえり

10/29.31人に会いに行く旅プログラム

10/26.11/2.11/16社会×デザイン（働き方のデザイン講義等）

11/7高崎・大熊プログラムとの相互交流@東京

○大熊プログラム（9名）

10/10.11オリエンテーション@大川原連絡事務（大熊町現地視察含む）

10/24 未来会議@中通り連絡事務所への参加

11/7高崎・大熊プログラムとの相互交流@東京

11/28 未来会議@中通り連絡事務所への参加

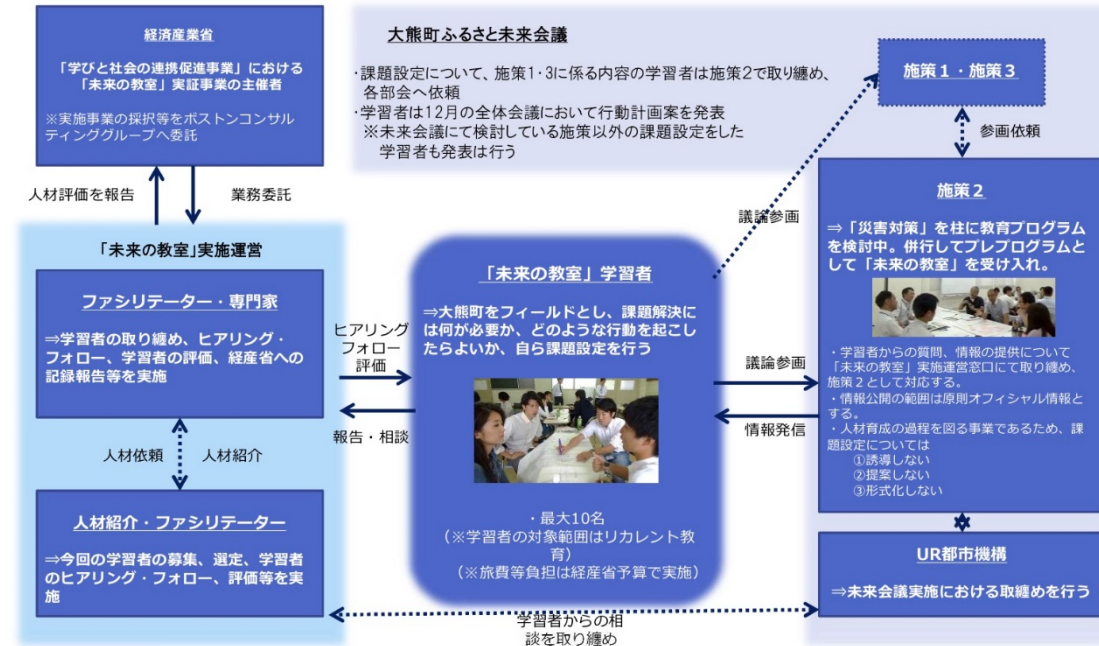
12/5 未来会議・部会への参加

参考①) 一般社団法人場所文化フォーラム

【大熊プログラム①について】

*本資料では、大熊町の状況をお知らせします。

『未来の教室』実証事業の概要



★外部視点から、災害対策プログラム、プログラム実施に係るヒントが得られる

★賛同を得られたものは、次年度以降もプログラムの具現化を検討

★情報発信から外部だけでなく、町側からチェンジメーカーが生まれることも

参考②) 一般社団法人場所文化フォーラム



類型a

類型b

類型c

2次公募

【大熊プログラム②について】

『未来の教室』オリエンテーション 実施行程

■10月10日(水)



大熊町の状況説明

- 大川原連絡事務所長より説明
- ※大熊食堂にて昼食

帰還困難区域視察

- 大野駅周辺
- 大熊町役場



中間貯蔵施設視察

- ヒラメ養殖施設
- サンライトおおくま

大川原地区復興拠点視察

- 大川原事務所長より展望スペース
において説明実施



懇親会(於:会津若松)

- 参加者自己紹介など

■10月11日(木)



挨拶

- 愛場事務局長より開会挨拶後、石田係長より挨拶

語り部による話

- 庄司ヤウ子さんより



ディスカッション

- ファシリテーター林田さん
- ワールドカフェ方式

